

ひとつぶの種

アメニティーフォーラム in 滋賀に行ってきました。

相談支援専門員 鈴木 宏幸



3日間という貴重な時間を頂き、2月に滋賀県で開催されたアメニティーフォーラムへ参加させていただきました。

平成28年に施行となる障害者差別解消法について、法律の中で謳う合理的配慮を進めることによって、誰もが幸せに暮らすことができる、冒頭から多くの講師によって語られました。誰もが心の中に持っているであろうやさしさや思いやりを引き出せると期待する半面、障害のある方の権利の向上って本当に一步一步な

んだなと感じてしまいます。これはわれわれ福祉事業者側も真摯に受け止めて対応していかなくてはならないことだと思います。

同じ会場でアール・ブリュット展も同時開催されており、恥ずかしながらアール・ブリュットという

言葉も分からないまま、展示されている作品を拝見させていただきました。正規の美術教育を受けていない人が自発的に生み出した、既存の芸術のモードに影響を受けていない絵画や造形のことをアール・ブリュットというようですが、ゆるぎない一貫性、無限の連続性の魅力など人を惹きつける力の大きさを感じさせる作品に目を惹かれました。



自分の業務は、お一人おひとりへの支援が大切であるけれど、連続性を持って地域に絵を描いていくことで、人を惹きつけ、魅力を伝え、

今後の地域づくりに繋がっているという意識を持って取り組みたいと感じました。

その他にも多岐にわたる分野、ミーハー心をくすぐる豪華な講師のお話を聞くことができ、素敵な3日間となりました。

1月から相談支援の業務に携わって約半年。これからも、ひかりの園の法人訓である「喜ぶ人とともに喜び、泣く人とともに泣きなさい」の示すとおり、寄り添い、ともに人生を歩むことを、着々と実践を積み重ね、微力ながら誰もが幸せを感じられる地域づくりに尽力していきたいと思います。



～相談支援スキルアップ研修を開催しました～



相談支援事業所まどが行っている「相談援助」という仕事は、直接的に介護や生活支援に携わることはありませんが、ご利用者の生活の質を大きく左右する重要な責任を負っています。

よりご利用者のニーズに添ったケアプランを作成するためには、利用者や家族の思いや願いや本音を十分に引き出し、それらを踏まえながら計画することが大切になります。そのために、相談援助に携わる職員は、対人援助のスキルとしてのコミュニケーション術を身につけ、たえず高めていくことが求められます。

ひかりの園では、法人で相談援助に携わる勤務する介護支援専門員や相談支援専門員を対象に、相談援助のスキルアップを目的とした研修会を開催しました。講師にケアタウン研究所の高室成幸先生を招き、2月18日と3月2日の二日間をかけて、じっくりと相談面接の技法やアセスメントについて学びました。

初日の講義では、「聴く」ことの基本姿勢、質問の組み立てかた、質問の技術について学びました。初対面の人では緊張して、思っていることをうまく伝えられない、心配事やつらいことがあると話をしたくなくなる、うまく伝わらなかったり、聴いてもらえていないと感じると、どうせ分かってもらえないだろうと思ってしまふ…ご利用者やご家族はこのような不安を抱えていらっしゃるかもしれません。「聴く」ために必要なことは、まず相手の表情や、声の調子にも注意を払うこと、相手に敬意を払い、心と耳を傾けているかが、何よりもまず大切であることを再確認しました。

二日目はアセスメントと分析力について学びました。講師の高室先生は、「CADL」の視点が大切だと強調されていました。ADL (activities of daily living) とは「日常生活動作」という意味で、生活面の自立度や介護度を探るために、アセスメントにおいては重要な質問項目です。ADLの支援が最終の目標ではなく、ADLにC (Cultural) =その人の文化的生活の視点を加えて、その人にとっての楽しみや心地よさ、夢中になれること、こだわりなどを実現するためにADLの支援があることを忘れてはならないという話がとても印象的でした。



この研修の成果を、日々の相談援助の業務に活用し、真にご利用者や家族から信頼される専門職を目指したいと思います。

高木誠一

平成27年度第1回 浜松市西区障害者自立支援連絡会全体会報告

今年度第1回の西区障害者自立支援連絡会（以下「連絡会」）全体会を5月20日の午後、西区役所で開催されました。当日は約40名近い方がご参加くださいました。

今年度最初の連絡会ということで、昨年度の連絡会の報告、委託相談支援事業所のすばるさん、まどの実績報告、今年度の活動計画等をご説明し、承認をいただきました。



計画相談業務が本格的に導入され、委託相談の件数は減少しているのかと予想していましたが、実際は前年度に比べ2事業所で1400件ほど相談が増えています。相談件数の増加の要因は、西区あんしんネット協議会が機能し始め、地域のニーズが顕在化してきたことが大きな要因だと思います。今年度も、連絡会としては地域づくり部会活動の一環として西区あんしんネットと連携していきたいと思っています。

連絡会としては、昨年度は特に西区内の教育機関との連携に重点を置いて取り組んできました。隔月開催の事例検討部会や西区地域フォーラムにも大勢の学校の先生方にお越しいただき、顔の見える関係の構築はもちろんのこと、具体的な事例をとおして活発な議論を行うことができました。今年度は教育機関に加え、医療機関との連携を模索したい。この点においては民生委員さんや高齢者相談支援センター等からもご協力・ご指導を賜りたいと思います。

今年度の連絡会の代表も私美和がつとめさせていただくことになりました。連絡会を運営するのは相談支援専門員ですが、地域のご利用者の相談に応じる相談（支援専門）員の人材育成が急務であると考えています。そこで、今年度は事例検討部会を拡大し、人材養成部会を発足させることとなりました。具体的にはケアマネ

ジメントの手法を学ぶ（再確認する）とともに、（支援）会議等を円滑に回せるようファシリテートの研修等も企画していく予定です。

第1回の連絡会の冒頭では、構成団体から事業紹介をしていただきました。今年は事前に各事業所に紹介シートを作成していただき、当日の資料として参加者に配布してプレゼンテーションをお願いしました。紹介シートを綴じることで、最新の西区事業所紹介冊子ができました。業務の中でも大いに活用できます。

近年急激に、新しい障害福祉サービス事業所が開設されていて、連絡会の構成団体も増えてきました。「自立支援協議会とは」と言っても、加盟機関がそれぞれ共通認識をもっているわけではありません。そこで今回の全体会では、基調講演として「自立支援協議会とは何か」をテーマに、静岡県の障害者自立支援協議会の圏域コーディネーターを務められていた相談支援事業所くるみ・増井潤氏にお越しいただき、ご講義をお願いしました。

浜松市全体の自立支援協議会調整会議とその専門部会等では、各区連絡会からの課題等が上げられ、課題解決に向けた議論を重ねています。西区連絡会においては、構成員一人ひとりが高い意識を持ち、自分が所属する事業所や団体のことだけではなく、西区や浜松市の障害福祉のあり方や、障害のある人の生活の向上に向け、地域の一層の連携、協力の体制ができることを期待しています。

美和勇一郎

ご存知ですか？「しずおかサポートファイル」を??

「しずおかサポートファイル」は、障がいのある人の意思決定に配慮しながら、支援を必要とする人が生涯にわたり、地域で安心・安全な生活を送ることができるように、福祉・医療・保健・教育・労働等が連携し、継続した支援を受けられるよう、理解を深め、より良い関係づくりの一助になることを願って作成されました。

静岡県手をつなぐ育成会が静岡県より委託を受け作成して、現在では全県域でその普及が図られています。

相談支援事業所ではサービス等利用計画を作成させていただくようになりましたが、その作成に当たってはご本人、親御さん等から様々なアセスメントを行います。

しかし、ご本人や親御さんにとっては、相談支援事業所だけでなく、福祉サービス事業所、教育機関等関係する様々な機関に対し、同じ話をしなければいけません。その負担も大きいのではないかと思います。

また、突然親御さんがご病気になったり、お亡くなりになり、子どもさんに対する思い等を支援者に十分に伝えられないことも考えられます。

ご本人や親御さんの気持ちを支援者に的確に伝えるために、ぜひ「サポートファイル」を有効に活用することをお勧めします。たくさんの記入する項目がありますが、一気にすべてを書かなくてもかまいません。今伝えたい気持ちや当面支援者に知っておいてほしい情報から書き始めるとよいと思います。

書き方等においてご不明な点などございましたらお気軽にお問い合わせください。



サポートファイルの概要

しずおかサポートファイルは、2つの「ブック」と2つの「記録」の4部構成になっています。それぞれのシート（各ページ）に記入した後、ページ番号に合わせてクリアファイルに入れ、1冊のサポートファイルとしてお子さんに関わる情報を一括して管理できます。

1. プロフィールブック

基本情報は記入時現在の本人の情報です。緊急連絡先や緊急の支援に必要な事項など、必要最小限の項目を支援者が1ページで一覧できるようになっています。医療情報は、本人の医療に関する記録を記入します。医療サポート情報シートは、受診の際に必要な支援や配慮について記入します。福祉支援、生育歴、所属歴、訓練・検査・その他の記録は、療育手帳や母子手帳などの情報の記録や、学校・施設などの所属、受けた訓練や検査などの記録をプロフィールブックにまとめておくためのシートです。

2. 支援ブック

記入時現在の子どもの健康状態や日常生活の様子を記入します。例えば、緊急時や短期の預かりなどの際に、生活する上で、本人にとって必要な支援や具体的な情報を支援者に伝えることができます。要約版に書ききれないことやさらに詳しい説明が必要な場合は、後ろのシートに詳しく記入できるようになっています。記入する際は、直接的な支援の仕方がわかるように記

入します。

3. 成長の記録

歩みは、いつ（何歳の時に）どんなできごとがあったのか、本人を中心に家族の歴史を記入します。成長した後、本人が家族と共にどのように歩んできたかがわかります。生活の記録は、成長の過程で特に記録に残しておきたいことや、歩みに書ききれないことなどを記入します。将来の希望は、成長した姿をイメージして、今現在取り組んでいることや準備していることなどを記入します。進路先への引き継ぎ事項は、幼児・学齢期の進級・進学時、個別の教育支援計画などの補足として利用します。就労の記録は履歴書のように、就労に関する記録を記入します。就労・訓練・実習の記録シートは、就労の記録を記入するシートです。訓練や実習の場合も記録を残しておきます。はたらく人になるためには、生活習慣や作業能力の達成度を記入します。将来就労・自立するために必要な力を伸ばせるよう、進級・進学などの節目に本人の力を見直します。余暇活動や習い事の記録は、日常生活や地域での生活での体験や経験を記入します。相談・支援の記録は、本人についてあらゆる相談や受けた支援を記録するシートです。いつ・誰に・どんな相談（支援）を受けたかを記入します。発達や成長に応じて次への支援につながる重要なシートです。また、支援者が変わっても同じ支援が受けられるよう記録を残しておきます。

4. 親心の記録

親なきあと、子どもを託す場合に、自分の財産管理を含めて必要な情報を記載します。将来、成年後見制度を利用する際にも必要な項目が含まれています。親自身の親族やその連絡先、財産の情報など、極めて個人情報を記入することになるので、普段は持ち出ししません。別のファイルに入れて、家庭で保管することをお勧めします。

静岡県障害福祉課ホームページからサポートブックのダウンロードができます。

<https://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-320/supportfile.html>

～新任のご挨拶 よろしくお願ひします！～

鈴木 伸幸



はじめまして。4月から相談支援事業所までに勤めさせていただいております鈴木伸幸と申します。3月まで市内にあります他社会福祉法人の障がい者支援施設（生活介護・施設入所）で20年ほど生活支援員をしてきました。直接支援の現場で仕事をしている中で疑問や閉塞感を感じて道に迷っていたところ、運よく「まど」に拾っていただきました。私自身、身体に障害を持つ障がい者ですので、ご利用される皆さんに近い立場で支援できたらと考えております。初めての相談支援の現場に四苦八苦している毎日ではありますが、事業所の先輩方だけでなく、地域で活躍されている皆様のお力を借りながら、精一杯頑張っていきたいと思っております。今後とも、どうぞよろしくお願ひします。

鈴木 朋美



初夏の朝、爽やかな甘い香りが部屋を包んでいます。芳しい香りの正体は、緑色のまんまる梅の実さん達です。先日、第二青葉の家で皆さんが熱心に採っていらしたのを目にしていたので、よりいっそう愛のこもった特別な梅に感じ、ころころ可愛く愛おしく思えます。梅子、梅太郎、うめきち・・・（それはわんこ？）・・・ホワイトリカーのお風呂で美味しい梅酒に熟成してねとお願ひしつつ、自己紹介を始めます。

わたくし、2015年の4月よりまどでお世話になっております、鈴木朋美と申します。先日、以前勤めていた自閉症の方の生活介護の事業所の行事ボランティアに参加したところ、ショッキングな出来事がございました・・・

2ヵ月前まで仲良しだった（と思っていた）利用者さんが知らないふりをするのです。今まで暇を見つけては手をつなぎに来ていた過去はどこへ、伏し目がちに「さよなら」と言うのです（笑）。周りから髪型が違うからだよとなぐさめられ、ちょっとふっくらしたかねーと現実的なご指摘も頂きつつ、“次回の交流会（7月）では、ウィッグをつけてスーパーダイエットをしてリベンジだ！”と決意を新たにしたのでした。

さて業務では、まど鈴木4名の力を合わせまして、ハーモニーを奏でる計画の作成や、ご安心頂ける相談等を目指して、日々精進して参ります。至らぬ点多々ございますが、皆様のお力をお貸し頂きますと幸いです。ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。